

令和7年度滋賀県環境保全功労者知事表彰 受賞者一覧

●環境保全部門

区分	受賞者（敬称略）	主な功績
団体	<small>こなん こうが</small> 湖南・甲賀 <small>かんきようきようかい</small> 環境協会	昭和 53 年（1978 年）の設立以来、約 47 年間にわたり地域企業の公害防止に資する様々な事業を展開されている。企業参加型の水質事故被害拡大防止訓練の実施や、油流出事故時に役立つ水路マップの作成・公開等の公害防止活動に加え、環境トップセミナー、環境担当者研修会等により環境保全意識の向上・普及啓発にも尽力され、その継続的かつ実践的な取組は、環境保全活動の模範となるものである。
個人	<small>なかむら まさひさ</small> 中村 正久	約 34 年間にわたり、琵琶湖をはじめとする日本の湖沼管理の経験を土台に、世界各地の行政官、技術者、研究者に湖沼環境の持続可能な管理を指導してこられた。これまで多年にわたり実施された研修の履修生は全 65 か国、延べ 334 名にもなり、当該研修の履修生は自国において成果を上げている。琵琶湖モデルの世界への発信や、琵琶湖のみならず世界の持続可能な湖沼流域管理など、本県環境保全の推進に大きく貢献された。
個人	<small>まつざわ まつじ</small> 松沢 松治	平成 18 年（2006 年）度に湖南流域環境保全協議会の役員に就任以来、湖南流域の環境保全活動に取り組まれてきた。平成 21 年（2009 年）度から平成 28 年（2016 年）度まで実施されたこなん水環境フォーラムでは、準備段階から携わり、フォーラムの開催・成功に貢献された。また、平成 24 年（2012 年）に設立されたマザーレイクフォーラム運営委員会の委員長としても 10 年間御尽力いただくなど、本県環境保全の推進に大きく貢献された。

●環境学習・教育部門

区分	受賞者（敬称略）	主な功績
団体	おおつしりつ 大津市立 おうさかしやうがっこう 逢坂小学校	毎年、学年ごとにテーマを掲げて系統的に環境学習に取り組まれてきた。また、委員会活動における環境学習活動も活発であり、主にリサイクル委員会（エコきらら）や飼育委員会（自然キラキラ）などがエコ目標の設置やリサイクル活動を行い、校内の環境意識を醸成している。加えて、ペットボトルキャップ回収で社会貢献を実現し、資源の大切さや社会貢献を学ぶ教育活動の展開も行っており、その継続的かつ実践的な取組は、環境学習活動の模範となるものである。
個人	にしざわ かずひろ 西澤 一弘	主に湖東圏域において環境学習を中心とした活動を幅広く展開し、地域住民の環境意識の向上に取り組まれてきた。様々な団体の発足当初から活動に関わり、現在まで多年にわたり活動を継続されている。特に、環境フォーラム湖東では代表兼運営委員長として、愛荘町さわやかまちづくり推進会議では会長として団体を牽引し、ネットワークの構築を目指して環境活動の輪を広げられ、本県環境学習の推進に大きく貢献された。
個人	くらはし よしひろ 倉橋 義廣	早崎ビオトープネットワークおよび早崎内湖再生保全協議会に参画し、代表職を担うなど約 22 年間にわたり環境学習活動に取り組まれてきた。平成 14 年（2002 年）から現在まで実施されている生き物観察では、これまでに累計 3,000 人を超える小学生等が参加し、早崎内湖の生態系の保全とともに、景観的な魅力や学習の場などの内湖が持つ様々な機能を発信され、本県環境学習の推進に大きく貢献された。

●環境調査研究部門

区分	受賞者（敬称略）	主な功績
個人	ないとう まさあき 内藤 正明	琵琶湖流域が直面する気候変動による影響などの課題に対し、自然科学と社会科学を統合した調査研究を展開し、その成果を本県の環境施策に反映した。また、市民参加型調査研究を推進し、科学的知見の共有と意識変容を同時に促すとともに、国際的視野から自然共生・脱炭素社会モデルを発信し、学術と社会を結ぶ基盤を築かれるなど、本県環境保全の推進に大きく貢献された。
個人	つの ひろし 津野 洋	湖沼における富栄養化現象に対し、栄養塩類の動態解析および富栄養化予測モデルを構築し、アオコ発生や異臭問題の解決に寄与された。また、水質工学分野において、水域における汚濁物質の移動・変換機構の解明、水質汚濁防止技術の開発に多大な功績を残すなど、琵琶湖・淀川水系の環境保全研究の第一人者として研究を牽引し、本県環境保全の推進に大きく貢献された。

●行政協力部門

区分	受賞者（敬称略）	主な功績
個人	いちかわ よういち 市川 陽一	3期にわたり、県環境影響評価審査会長として審査会のとりまとめに御尽力いただくとともに、審査委員として専門分野である大気環境工学に係る分野を中心に、環境保全の観点から必要な事前配慮や環境影響評価に関する事項などを審議いただいた。審査会長および審査委員としての職責を全うされ、本県環境行政に対し多大な貢献をいただいた。